

2025年11月14日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および
K P I 実績値の公表について

- 当組合は、協同と相互扶助の精神を貫き、お客さま（組合員・利用者）への水準の高いサービスと技術を提供することにより貢献をめざすとともに、人と自然・環境との調和をはかり、食文化と経済活動を基本として、地域社会との共存共栄をめざすことを経営理念として掲げています。
- さらに、「～地域に一生懸命～」をキャッチフレーズに掲げ、地域に根ざした協同組合として金融仲介機能を最大限発揮するため、金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択し、お客さまのくらしと資産を守るための相談業務の強化、資産形成・資産運用ニーズに応じた最適な保障提供や、顧客利益に適う提案型相談の推進を行うために、本方針を制定したことを公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（ＪＡ共済連）が、共同で事業運営しております。

八王子市農業協同組合

I.取組状況

1 お客さまへの最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 金融商品 【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3、6、7) 補充原則1～5本文および(注)】

- 貯金・融資をはじめとするお客さまの暮らしに必要とされる商品・サービスをライフスタイルの変化に合わせてご提供します。
- 提供する商品については、農家世帯から勤労世帯、あるいは若年者層から高齢層に至るまで、幅広くお客さまの特性に応じた商品・サービスを提供します。
- 当該商品を組成する投資運用会社については、プロダクトガバナンス（良質な金融商品・サービス・管理）の実効性が確保されていることの把握に努めます。
- お客さまの最善の利益を実現するため、JAバンク全体として金融商品を購入したお客さまの属性および販売状況に関する情報等を投資運用会社に提供するなど情報連携を行います。

I.取組状況

(2) 金融商品 投資信託 【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3、6、7) 補充原則1～5本文および(注)】

- 資産形成・資産運用のご相談をいただいたお客さまに提供する金融商品として、様々な投資ニーズに合った商品を取り揃えるとともに、お客さまの選びやすさも考慮したうえで、JAバンクが独自の基準で商品数を厳選した「JAバンクセレクトファンド」をご用意しております。なお、当組合では金融商品の組成には携わっておりません。
- 当組合では、2024年10月より投資信託の取扱いを開始している為、前年度末比（-）との表記となっています。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ（2025年3月末時点）>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：-)	4 (前年度末：-)
株式型	3 (前年度末：-)	5 (前年度末：-)
REIT型	1 (前年度末：-)	2 (前年度末：-)
バランス型	7 (前年度末：-)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

※商品選定の考え方：JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

I.取組状況

「JAバンクセレクトファンド」は、主に以下①～⑤の基準をもとに商品を選定しており、お客さまのニーズに合った商品を取り入れ、運用実績が芳しくない場合は取り扱いを行わない等、選りすぐりの品揃えの見直しを行います。

- ①長期投資のメリットを生かし将来に備える投資信託であること。
- ②長期投資の観点から主に投資効率が良い商品であるかを判断し過去の運用実績が相対的に良好であること。
- ③「過去の運用成績を今後も再現すると期待できるか」を踏まえ過去の運用成績の再現性が認められること。
- ④これから将来に向けて資産を築いていく資産形成層に向け、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと。
- ⑤手数料が同分類の商品と比較して良心的な水準であること。また、投資ニーズについては、都度意向確認を実施しお客さまのリスク許容度を確認したうえで、そのリスク許容度に沿った商品をご案内します。

I.取組状況

1 お客さまへの最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(3) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

①お客さまの保障ニーズや様々なリスクに対し安心して備えられるよう、最良・最適な共済仕組みサービス等の一体的なご提供をします。

②地域に根ざした組合として、お客さまのくらしと資産を守るための相談業務を強化し、訪問活動サービスにより最適な保障提供や、顧客利益に適う提案型相談の推進を行います。

また、訪問活動を通じてお客さまへ定期的・継続的なフォローアップを実施します。

③ご高齢のお客さまに対しては、ご家族も含め丁寧な説明や対応を実施します。

④市場リスクを有する共済仕組み(外貨建て共済)の提供は実施しておりません。

なお、共済事業については、全共連と共同で事業で運営を実施しており、お客さまの声や実際に販売した顧客情報について相互に連携をしております。

I.取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供

(1) 信用事業活動

【原則2本文および(注)原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1～7)】

当組合の経営理念のもと、お客さまへ水準の高いサービスと技術を提供することにより貢献することを目指して、これからもお客さま本位の業務運営へ取り組んでまいります。

また、地域に根ざした組合としてご相談訪問活動を通じて、お客さま本位の提案と情報提供について、下記の内容に努めてまいります。

●お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に応じて、貯金、融資等の最良・最適な商品をご提案し、属性・適合性を判断したうえで販売します。特に、ご高齢のお客さまに対しては、ご家族も含めてご理解いただけるよう丁寧な説明を行います。

●商品・サービスの提案にあたり、希望する商品やサービスの利用目的を十分に確認したうえで、商品間の比較が容易となるようなパンフレット・タブレット等を活用し、分かりやすい情報提供を実施します。特にお客さまが負担する手数料・費用等の重要な情報については丁寧な説明を行います。

I.取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供

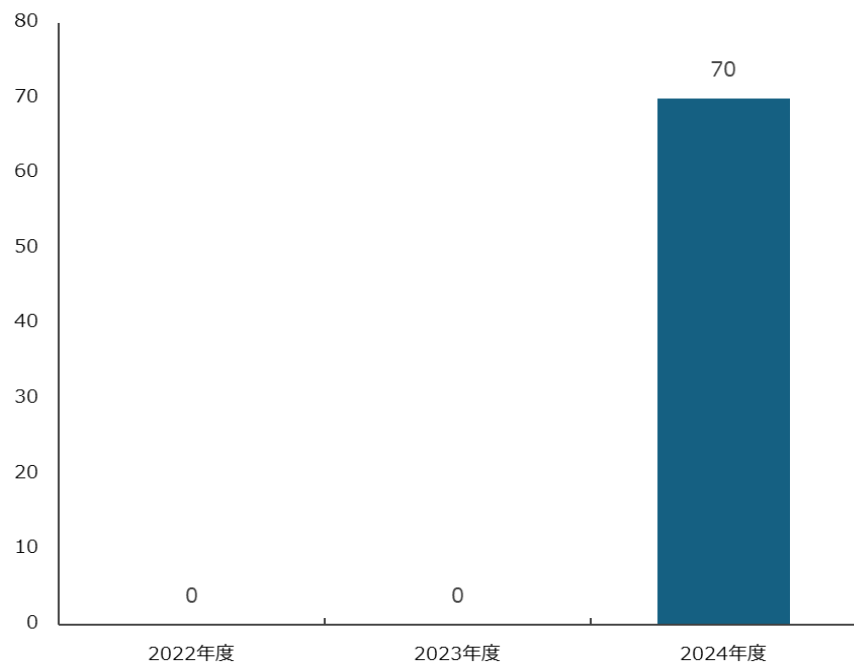
(2) 信用事業活動 投資信託①

【原則 2 本文および（注）原則 4、原則 5 本文および（注 1 ～ 5）、
原則 6 本文および（注 1 ～ 7）】

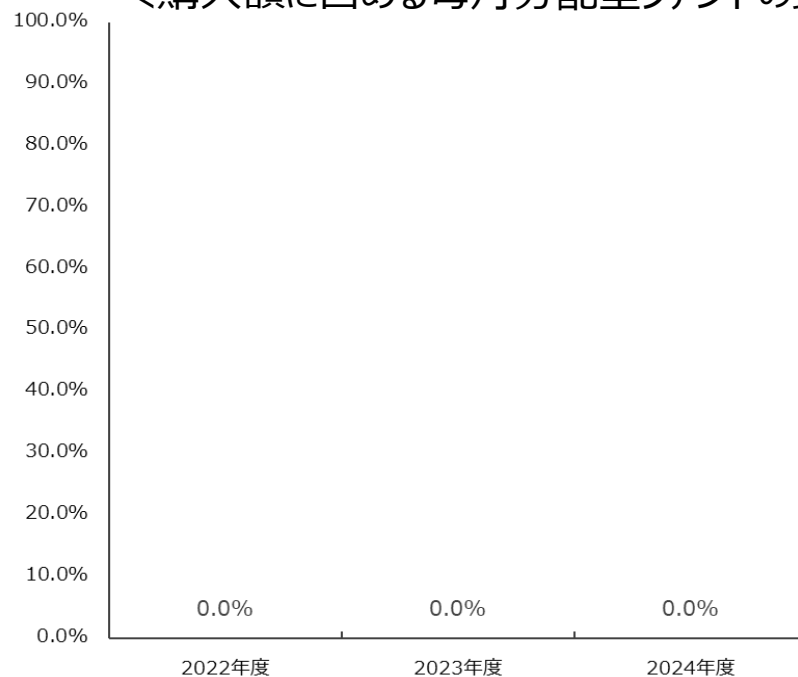
●お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に応じて、最良・最適な商品をご提案し、属性・適合性を判断したうえで提案した結果、「投信つみたて」を利用されるご契約が70件になりました。

●当組合では、2024年10月より投資信託の取扱いを開始している為、2023年度以前の実績はございません。

(件) <投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



I. 取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1～7）】

(2) 信用事業活動 投資信託②

●お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、資産運用ガイダンス・J Aバンクセレクトファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。また、販売後においても、財産状況・投資目的・リスク許容度の変更有無を確認するとともに、各種情報提供により丁寧なアフターフォローを通じ、購入商品等について継続的にご理解いただけるよう取り組みをしております。



➡ コア・サテライト戦略について



➡ 投資対象のリスクとリターンの関係イメージ

右にあるタイプの投資信託ほど高い収益が期待できる一方で、価格が変動する幅も大きくなります。



●上記は一般的なイメージであり、市場動向によっては大きく乖離する可能性があります。また、将来の運用成果を表すものではありません。

➡ リスクと投資カテゴリーイメージ

	安定型	中間型	積極型
リスク	小		大
商品イメージ	国内債券 海外債券 (為替ヘッジあり)	海外債券 (為替ヘッジなし)	国内株式 海外株式 国内REIT 海外REIT

●各ファンドのカテゴリーは、投資の参考となる情報を提供することのみを目的に、リスクリターン目安として、「騰林中央金庫」が定めたものであり、投資家に購入

●バランスファンドは、債券リスクの高低・為替リスクの有無等を基に判断をしています。
●各ファンドのウェブサイト上、過去の業績や商品性に基く一般的なイメージであり

市場動向によっては大きくかい離する可能性があるほか、将来の運用成果を表すものではありません。

I.取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供

(3) 共済事業活動

【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1・2・4・5)】

当組合の経営理念のもと、ご相談業務を通じてお客さまにあった商品提供をするために、各種公的保険制度等を始めとする生活や暮らしに役立つ情報やサービスの提供を行い、一人ひとりの加入目的・ライフプラン等に応じた最適な保障・サービスを提供します。

●保障の加入にあたっては、お客さまのご意向に沿った適切な商品を選択いただけるよう、的確にニーズを把握・確認したうえで、十分に保障内容をご理解・ご納得いただけるよう、分かりやすい重要事項説明(契約概要・注意喚起事項)を実施します。

●ご高齢のお客さまの意向確認については、ご家族も含め十分ご納得、ご満足いただけるよう、丁寧な説明や対応を実施します。

●各種手続きの実施にあたっては、お客さまに分かりやすいご説明を心がけるとともに、ご加入後もお契約内容等について3Q訪問活動を通じて近況確認、安心チェック等による定期的・継続的なフォローアップを実施します。

(なお、保障の加入にあたり、共済掛金の他にお客さまにご負担いただく手数料等はございません。)

3 利益相反の適切な管理

【 原則 3 本文および（注） 】

（１）信用事業

お客さまのリスク許容度にあった投資信託商品を提供することとしており、お客さまの知識・経験・財産状況・投資目的などを総合的に勘案することで、ご意向に反した販売手数料の高い商品を優先する様なご提案はいたしません。また、当組合で定める「利益相反管理方針」等に基づき、利益相反のおそれがある取引を適切に把握して管理しております。加えてお客さまの状況や意向に沿わない販売が行われないう、事務手続きに基づいた適正な業務運営をしております。

（２）共済事業

お客さまの商品選定、保障提案にかかる情報提供や共済仕組みの提案・契約等において、お客さまの利益を不当に害することがないように、当組合で定める「利益相反管理方針」等に基づき、利益相反のおそれがある取引を適切に把握して管理します。

4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

●お客さまへ最適な商品と情報を提供するため、職員の指導や資格取得を推奨することにより、販売担当者からお客さまへの提案力向上をめざし、系統内研修および外部研修機関を利用した各種研修等を受講することにより、高度な専門性を有した誠実・公正に業務を行うことのできる人材を育成します。また、金融商品取引法、その他の法令等の遵守状況および帳簿書類等の管理状況についてモニタリングする態勢を組合内に構築し、法令・諸規則等の違反予防にも努めております。

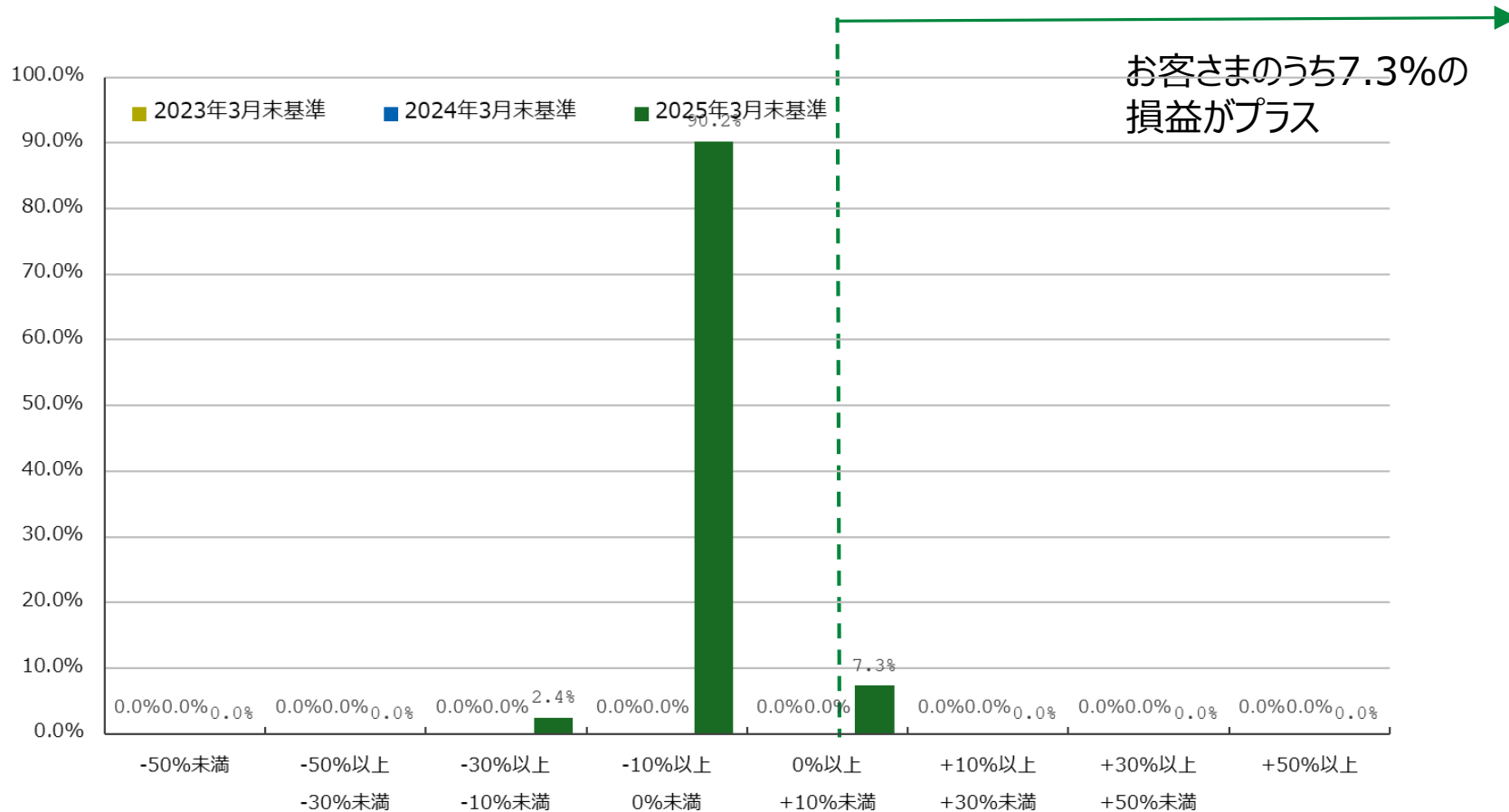
●お客さまの多様な資産運用や保障ニーズに応え、的確な金融商品・保障サービスを提供し、堅実な事務を行うため、研修・資格制度、外部資格の支援や推奨に取り組んでおります。

●お客さまへご対応する担当者につきましては、認証資格を取得したもの、推進担当者資格を認定されたものが行っております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- お客さまへの長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきましたが、当組合における投資信託の取扱いが2024年10月からということもあり、「運用損益別顧客比率」については、2025年3月末時点で全体の7.3%のお客さまの損益がプラスとなりました。

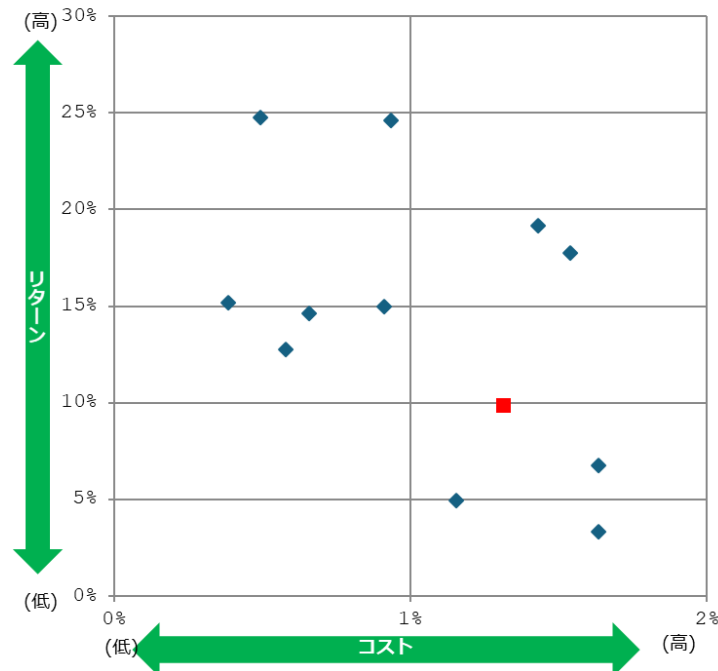


Ⅱ.比較可能な共通 K P I

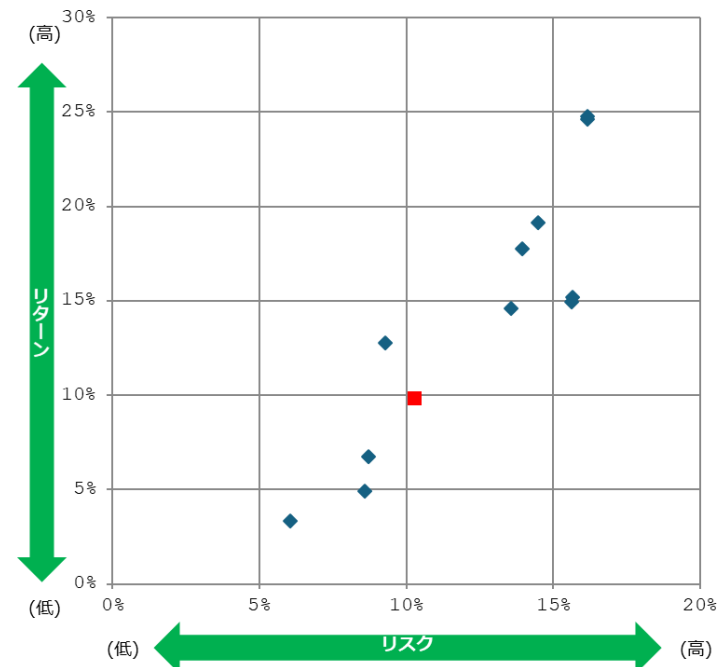
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さまの業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.31%、平均リスク10.29%に対して、平均リターンは9.86%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

【預り残高上位20銘柄（設定後5年以上経過したもの）】

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	6.76%	8.71%	1.63%
2	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.93%	8.59%	1.16%
3	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.62%	16.15%	0.94%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	19.14%	14.48%	1.43%
5	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	3.35%	6.05%	1.63%
6	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.19%	15.67%	0.39%
7	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.77%	16.16%	0.50%
8	おおぶねグローバル(長期厳選)	農林中金バリューインベストメンツ(株)	14.63%	13.58%	0.66%
9	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	17.77%	13.93%	1.54%
10	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.96%	15.62%	0.91%
11	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	12.76%	9.29%	0.58%
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		9.86%	10.29%	1.31%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は11本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。